

令和7年2月教育委員会会議（定例会）会議録

1 日 時 令和7年2月13日（木）午後1時30分～午後2時50分

2 場 所 市役所7階 研修室

3 出席者〔教育長〕中島秀行

〔委 員〕宮本陽子(教育長職務代理者)、寺本彰、森田理恵

〔事務局〕千葉裕之教育総務部長、中田利明学校教育部長、池田淳教育総務部次長、櫻井誠学校教育部次長、吉川誠学校教育担当参事兼学校教育課長兼健やか輝き支援室長、中村啓教育センター担当参事兼教育センター所長、鈴木健教育総務課長、北村史恵教育総務課主幹兼教育企画室長、市村浩昭教育施設課長、奥井祥三社会教育課長、三上佳明スポーツ振興課長、稲田里織文化財保護課長、川島一禎文化財保護課主幹、橋本浩志所沢図書館長、渡辺純也保健給食課長、高鍋英彦教育センター主幹、北嶋一済学校教育課指導主事、福田圭太郎教育総務課主査

〔書 記〕新井航教育総務課主任、藤倉彩加教育総務課主事

4 前回会議録の承認

5 会議の傍聴者 7名

6 開 会 北野委員は所要により欠席。本日の議案は、議案第30号から議案第32号の3件。また、協議事項が1件。

なお、議案第30号及び議案第31号については予算に関する審議のため、議案第32号については人事に関する審議のため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項に基づき、非公開としたい旨の発議があり、出席委員全員が賛成し、非公開で審議されることに決定した。

7 協議事項

○令和7年度所沢市教育行政推進施策について

資料に則り、北村教育総務課主幹から説明があった。

「所沢市教育行政推進施策」は、「第3次所沢市教育振興基本計画」の単年度実

施計画として、基本計画を推進するための重点事業等をまとめたものである。

冊子の構成について説明する。

目次の次、1 ページから 3 ページには、「第 3 次所沢市教育振興基本計画」の施策体系図と、それぞれの施策に対応する事業の一覧を掲載している。

事業名の後ろに◎の印がついている事業は、令和 7 年度に特に力を入れて取り組む「重点事業」であり、今年度は 22 の事業を重点事業とした。

4 ページから 9 ページには、22 の重点事業について、担当課や事業の概要を記載している。

続いて、10 ページから 21 ページには、48 の主要事業を掲載している。

続いて、22 ページには、令和 7 年度当初予算及び教育費予算の推移を掲載している。

最後に、23 ページには、教育委員会事務局組織図及び教育委員会の基本計画・分野別計画を掲載している。

今後の流れだが、今回ご協議いただく内容をもとに最終案を作成し、3 月の定例会では議案として、ご審議をお願いする予定である。

以下質疑

(寺本委員)

今回「所沢市教育行政推進施策」を提出されていますが、教育委員会会議 10 月定例会の議案第 23 号の資料に「令和 7 年度予算要求重点事業一覧表(一般会計)」がありました。今 22 の重点事業があると聞きましたが、予算要求重点事業にあった新規と既存の事業の中に、予算審議の関係で削られたものはあるのでしょうか。

(中島教育長)

各課で予算の関係で実施ができなくなった事業を教えてください。

(中村教育センター担当参事)

教育センター事業においては 4 件あります。子どもたちの英語力を英検に即した形で正確に把握する「英検 IBA 実施事業」、学習指導要領に記載があるプログラミングの授業の充実を意図した「中学校プログラミング教材導入事業」、メールでの誤送信等による情報漏洩を防ぐ BOX のシステムの導入を含む「ランサムウェア対策ツール導入事業」、就学相談と教育相談を統合し教育センターで実施するために必要な改修工事に伴う設計委託のための「相談業務統合事業」が削られました。

(川島文化財保護課主幹)

事業としては残っていますが、「歴史的建造物整備活用事業」の設計委託料が削られ、事業費が大幅に減っています。

(中島教育長)

「歴史的建造物整備活用事業」は秋田家住宅のことですが、予算はどれくらい削られたのでしょうか。

(川島文化財保護課主幹)

要求した設計費用は認められず、現在は秋田家住宅の維持管理に必要な光熱水費、火災保険料、警備委託料のみが認められています。

(中島教育長)

秋田家住宅は現状維持するということですが、どのような方向で考えていたのでしょうか。

(川島文化財保護課主幹)

秋田家住宅は建築から100年が経過しており、老朽化が激しいため、安全性も考慮してしっかりと整備し、「ふるさと所沢」の歴史・文化を伝え、地域の活性化に寄与する施設として活用していきたいと考えていました。来年度に設計を行いたいと考えていましたが、現状維持の判断のため、今後は事業費の再調整を含めて、できることを考えながら事業を進めていきたいと考えます。

(寺本委員)

他にも教育施設課などで予算を削られ、設計段階で止まっているものがあれば報告してください。

(市村教育施設課長)

「屋内運動場空調設備設置事業」について、以前は設計施工一括方式と説明しましたが、庁内の調整により通常的设计を介して工事発注をする方式に変わったことで、約8,000万円の要求から約4,000万円に減額されています。また、「小中学校校舎照明LED化事業」について、当初は7校を予定していましたが、予算の調整や査定により、小学校1校、中学校1校の合計2校になっています。

(中島教育長)

空調設備の設計施工一括方式が半額になったことで不都合はあるのでしょうか。

(市村教育施設課長)

設計施工一括方式であれば3, 4年で施工が完了する予定でしたが、現在の発注方式では7年ほどかかると想定しています。

(中島教育長)

急いで空調設備を設置しようと話を進めていたのでしょうか。

(市村教育施設課長)

そのとおりです。

(中島教育長)

「小中学校校舎照明 LED 化事業」について、7校から2校に減ったことで支障はあるのでしょうか。

(市村教育施設課長)

令和11年までに小中学校43校のLED化を完了する予定でしたが、工期について予定よりも延びることとなります。

(中島教育長)

全校完了するのはいつ頃になるのでしょうか。

(市村教育施設課長)

このペースでいくと20年程度かかると予想しています。

(中島教育長)

蛍光灯が2027年末に製造中止になる話がありますが、20年後まで蛍光灯はあるのでしょうか。

(市村教育施設課長)

在庫については可能な限り確保に努めますが、20年後の蛍光灯の在庫については分かりません。

(中島教育長)

その件については交渉したのでしょうか。

(市村教育施設課長)

今回も説明は行いましたが、認められませんでした。来年度以降も早期に完了できるように交渉を行いたいと思います。

(中島教育長)

子どもたちのことを考えたらすぐにでも進めるべきであるため、今後も交渉をお

願います。

(寺本委員)

6 ページ「所沢市運動部活動推進事業」「所沢市文化部活動推進事業」について、一番下の行に「令和7年度もモデル検証開始に向け努めます」とありますが、具体的にはどのようなイメージでしょうか。

(三上スポーツ振興課長)

現在、運動部では部員が減少傾向の個人種目である剣道について、山口中学校と上山口中学校の合同で昨年12月から取組を行っています。そこに地域のスポーツ少年団「剣友会」の方に参加いただき、顧問と連携を取りながら地域連携を進めています。来年度以降も具体的な種目は決めていませんが、この取組を広げていくために合同練習を試行的に進めていきたいと思えます。

(吉川学校教育担当参事)

文化部については吹奏楽部の地域移行を所沢市地域部活動検討委員会の委員を中心に進めていますが、具体的に何日、何回とは決まっています。その他の文化部についても地域の団体に働きかけながら進めていきます。

(寺本委員)

地域移行に関して、運動部・文化部どちらでも、一方の学校又は他の拠点で活動する場合、移動時の事故対策も進めていると思えますが、進捗状況はいかがでしょうか。

(三上スポーツ振興課長)

そういった課題も含めて検証を行っています。先ほどの山口中学校と上山口中学校は距離が近いので自転車での移動が可能ですが、防具と機材が大きいので保護者の方や顧問の先生に送迎していただき、どういった方法が適切か検討しています。

(吉川学校教育担当参事)

文化部も同様ですが、特に吹奏楽部では楽器の運搬があるため検討しています。

(寺本委員)

吹奏楽部に関してはそこが難しいと思えます。無理して地域移行の推進を進めないほうが良いのではないかと個人的には思えます。

(中島教育長)

吹奏楽部は学校ごとに活動できている状況です。それぞれの学校でコンクールに

出るため、平日に合同練習は難しく、吹奏楽部は課題が多いと思います。研究を進めてください。

(宮本委員)

5ページの「施策7 国際社会を生きる人材の育成」に「世界へ羽ばたく子どもを育てる所沢市外国語教育推進プラン」とありますが、昨年の夏に行っていた「English Summer Camp」は書かれていません。今年も実施予定でしょうか。

(中村教育センター担当参事)

推進施策の中にはありませんが、大変好評だったため、さらに事業を充実・発展させた形で夏季休業中に実施したいと考えています。

(中島教育長)

「施策7 国際社会を生きる人材の育成」の予算が5万円は少ないと感じます。

(中村教育センター担当参事)

この5万円は25,000円×2回で英語の教職員向けの研修会の講師謝礼です。「English Summer Camp」については、教育センターの消耗品費で今年度も実施しており、予算は確保してあります。

(森田委員)

16ページ「施策18 安全な学校づくりの推進」の「学びの環境整備事業」で防犯カメラについて書かれています。「令和7年度は、防犯カメラを中学校7校へ設置します」とのことですが、すでに設置されているのは何校でしょうか。

(市村教育施設課長)

防犯カメラについては今年度8校設置し、来年度7校設置することで中学校全校の設置が完了します。

(森田委員)

小学校に防犯カメラは設置されているのでしょうか。

(市村教育施設課長)

小学校の防犯カメラは全校設置済みです。しかし、老朽化しているものもあるため修繕で対応していきます。

(中島教育長)

市長が「子どもを中心にしたまちづくり」を標榜しているため、子どものために予算を出してくれると思います。修繕ではなく新しい物に取り替えて、子どもの安

全・安心のために取り組んでいただきたいと思います。

(寺本委員)

7ページの「学校トイレ改修事業」について、洋式化されていないフロアがある学校は何校あるのでしょうか。

(市村教育施設課長)

トイレ改修については、縦系統で行っています。第1系統は令和3年度に完了し、令和4年度から第2系統の工事を行っています。

(寺本委員)

予算の1,006,890千円は要求どおりでしょうか、それとも削減されたものでしょうか。

(市村教育施設課長)

学校トイレの改修は最優先している事業のため、削減されていません。

(宮本委員)

4ページの「学習者用コンピュータ更新事業」について、子どもたちが使っているパソコンに関する項目でしょうか。故障したものの修理に使うのか、全て更新するのか伺いたいです。

(中村教育センター担当参事)

現在配付している端末は令和2年度に整備した **Chromebook** です。令和8年2月をもって5年が経過するため、新しい学習者用端末を1人につき1台配付するためのものです。

(宮本委員)

故障や破損に対してではなく、全員一斉に新しくなるということでしょうか。

(中村教育センター担当参事)

全ての児童生徒の端末が令和8年3月から新しくなります。

(宮本委員)

小学校低学年だと端末が重く、持ち帰りが負担になっていると聞きました。持ち帰りの方法を検討し、楽しく使えるように運用を考えていただきたいと思います。

(中村教育センター担当参事)

低学年の児童が持ち帰る際の意見は導入当初から保護者からもいただいています。今後、機能面や重さ、丈夫さも含めて検討していきます。

(中島教育長)

37,600千円は何台分でしょうか。

(中村教育センター担当参事)

リース代となり、約23,000台×1か月分です。令和7年度は令和8年3月の1か月のみリース契約となっています。

(中島教育長)

1年間では1.2倍となりますか。なぜ来年度は1か月分だけなのでしょう。

(中村教育センター担当参事)

第1期GIGAスクール構想を国が示した時期の関係で、令和2年度が令和3年3月の1か月だけだったため、来年度も1か月分となります。

(寺本委員)

9ページの「郷土資料等収蔵施設整備事業」について、老朽化した保存施設とはどこで、どこへ移動するのでしょうか。また、予算の8,124千円は何に使うのでしょうか。

(稲田文化財保護課長)

旧富岡公民館を使用した第2文書庫の資料を、旧第3学校給食センターに仮移転する計画です。主な費用は、資料整理のための会計年度任用職員の報酬等、資料運搬の費用、資料の燻蒸費用です。

(寺本委員)

12ページ「施策7 国際社会を生きる人材の育成」の「小学校外国語活動推進事業」について、これは日本で生まれ、日本で育った児童への外国語対策だと思います。ある小学校では外国籍の児童の比率が全児童の10%近くいます。主にパキスタンをはじめとするイスラム圏の児童と保護者が、ウルドゥー語又は英語を話せる方を交えて校長、担任と話をしてしています。10%の児童がウルドゥー語を母語としている状況は、授業の成立や生徒指導を考えると無視できない状況だと思います。子どもたちは毎日問題を抱えているため、授業補助だけではなく保健室の補助としても、言葉を話せる方を任用することはできないのでしょうか。対策を取っておかなければ、学校の中でトラブルが発生したときに対応できなくなる可能性があるため、来年度以降考えていただきたいです。

(中島教育長)

現在、日本語指導や、日本語が話せない保護者への対応として教育委員会が行っていることを紹介してください。

(中村教育センター担当参事)

教育センターが行っている事業としては「日本語サポーター」があります。外国籍の子どもや日本語が通じない日本人の子どもが、授業や学校生活、社会生活に適應できることを目指し、対応しています。また、教育センター所管ではありませんが、県費の日本語指導教員が3名配置されており、特別の教育課程を編成し、日本語指導を行っています。市内全体ではボランティア団体の ESMY が公民館等で日本語指導を行っています。

(中島教育長)

今後を見据えて充実を図ったほうが良いという意見を踏まえて対応をしてください。

(宮本委員)

5 ページの「教育相談アドバイザー支援事業」と「特別支援教育推進事業」について、支援員を学校に配置する予算だと思いますが、これまでと人数は変わらないのでしょうか。

(中島教育長)

まずは「教育相談アドバイザー支援事業」についてはどうでしょうか。

(中村教育センター担当参事)

「教育相談アドバイザー支援事業」は教育委員会の最重点事業であり、400千円の予算は以前と変わりません。

(中島教育長)

「特別支援教育推進事業」はいかがでしょうか。

(中田学校教育部長)

「特別支援学級に在籍する児童生徒数や相談件数の増加、専門的な知識を持った教員の育成等、昨今の特別支援教育へのニーズの急激な高まりに対応するため、教育委員会に特別支援教育の視点を加えたグループを設置」とありますが、さらに特別支援教育アドバイザーを1名加え、充実をさせていきます。

(中島教育長)

来年度から今までいなかった特別支援教育アドバイザーを1名加え、特別支援教育の専門性を高め、以前よりも内容の充実を図っています。

(宮本委員)

新規事業ではないのでしょうか。

(吉川学校教育担当参事)

新規事業です。

(寺本委員)

令和7年度の予定で、市内全体の特別支援学級数の増減はありそうですか。

(吉川学校教育担当参事)

新規で2校立ち上げますが、既存の学級がなくなる可能性もあるため、全体での増減は把握していません。

(森田委員)

4ページの「いじめ未然防止対策事業」について、先日の教育懇談会でも各学校の取組をお聞きしました。良い結果が出ている一方で、今後も継続的に実施する必要性もあるとのことだったため、少しでも多くの学校に取組んでいただきたいと思います。「令和7年度は小中学校3校の委嘱校を選定」とありますが、どこの学校か決まっていますか。

(吉川学校教育担当参事)

現在募集をしており、まだ決まっています。

(中島教育長)

ただいまの協議事項について、各委員の意見等を踏まえた対応をよろしくお願ひします。

8 報告事項

○所沢市教育委員会後援等名義使用許可について（教育総務課）

○所沢市教育委員会の2月から5月までの主な行事予定について（教育総務課）

○小中学校教師用指導書（所沢小学校外）の取得について（教育総務課）

○国登録有形文化財「秋田家住宅」特別公開について（文化財保護課）

以下質疑

(宮本委員)

後援等名義許可一覧にある「子ども大学ところざわ」について、どのような内容でしょうか。

(奥井社会教育課長)

小学校1年生から6年生を対象に日本の伝統話芸である落語を聞き、自分でも演じてみるという取組です。

○意見書について

(中島教育長)

教育委員会会議1月定例会で「所沢市まちづくりセンター設置条例施行規則案」について協議を行ったことをまとめ、2月5日に小野塚市長へ意見書を提出しました。2ページの2番目(1)から(3)に「特定公民館」の名称について、条例第7条の使用制限について、教育委員会との話し合いの規定を入れていただきたいことをまとめました。この意見が市長に伝わり、意見が取り入れられた施行規則になってほしいです。意見書の提出後、市長からの意見や呼び出しは一切ありません。教育委員会会議1月定例会で寺本委員から、施行規則案を検討した結果を教育委員会に示してほしいと意見がありました。市長決裁で決めるのではなく、一度教育委員会に見せていただけるように働きかけたいと思います。3ページに書いてあることは教育長個人としての意見であり、教育委員会の総意ではありません。

質疑なし

9 議題

●議案第30号 令和6年度教育委員会予算(3月補正・追加)について【非公開】

●議案第31号 令和7年度教育委員会当初予算(補正)について【非公開】

※関連する議案のため、一括して審議

《削除》

※中島教育長の採決により、出席委員全員が賛成し、両議案とも原案どおり可決された。

●議案第32号 県費負担教職員（管理職）の人事に関する内申について【非公開】

《削除》

※中島教育長の採決により、出席委員全員が賛成し、可決された。

10 その他

今後の日程

- ・教育委員会会議3月定例会：3月12日（水）

11 閉会 午後2時50分